

企業が語るいきものがたり Part15

MS&AD

TNFDで世界の金融の流れが変わる

2022年2月10日

原 口 真

MS&ADインターリスク総研 フェロー／

MS&ADインシュアランスグループホールディングス TNFD専任SVP

TNFD Taskforce Member

- TNFDの紹介

※TNFDのガイドラインによりスライドは投影のみとなっております。ご了承ください。

- 金融の流れが変わるのか

※個人的な見解。

- 備えるポイント

※個人的な見解。

金融の流れがかわるのか

- 金融とビジネスセクターが主導
- 自然と気候は同じコインの両面
- 自然 > 自然資本 > 生物多様性
- 気候関連課題との違い

金融とビジネスセクターが主導（Market-led）

- TCFDの成功（？）に倣い、2018年後半から加速。
- CBD COP14（2018年11月）の民間参画関連の決議文書ではじめて「金融セクター」という用語が入った。

決議14/3「エネルギー・鉱業・インフラ・製造・加工部門における生物多様性の主流化」の締約国への奨励事項として

「生物多様性に関連する企業活動の公開を促進するための措置を含む、全ての部門における生物多様性を主流化するためのビジネス及び**金融セクター**による投資を奨励するための措置を設計し、適切に実施し、資金調達及び投資において生物多様性及び生態系の価値を主流化するためのアプローチを開発するよう**金融セクター**を奨励すること。」（仮訳）

自然と気候は同じコインの両面

- 地球上の気候と生物多様性の間には複雑な相互作用があり、人間社会に大きく影響する。これらを切り離して別々に制御できない。
- 人間活動と気候変動の生物多様性への影響が増大、自然と自然の恵みを損なっている～水産資源の枯渇、旱魃、熱波、森林火災等。
- 気候変動影響と生物多様性の損失は、現代の生態系と人間社会への深刻な脅威～生物の分布変化、森林炭素貯蔵の減少等。
- 気候変動緩和策には、生物多様性に貢献するものもあれば損なうものもある～例：マングローブ保全vs.バイオ燃料作物の大規模栽培
- 生物多様性は、人や生態系が気候変動に適応する助けになる。生物多様性損失を防止、抑制または反転させる対策は気候変動適応に貢献する。～30-50%の陸域・海域生態系の効果的な保全
- 気候、生物多様性と人間社会を一体的なシステムとして扱うことが効果的な政策の鍵。ランドスケープ、都市や農山漁村地域での生物多様性保全と気候変動対策の統合が有効。
- あらゆる部門の野心的な排出削減と自然を活用した解決策の親和性。
- 社会生態系におけるガバナンスの変革が、気候と生物多様性のレジリエンス(回復力)がある将来の発展経路を導く。

出典：生物多様性と気候変動に関するIPBES-IPCC合同ワークショップ報告書（2021）

自然 > 自然資本 > 生物多様性

「生物多様性」

生物多様性すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界生態系、これらが複合した生態系その他生息又は生育の場のいかんを問わない）の間の変異性。種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む
(UN CBD, 1992)

「自然資本」

人々に一連の便益をもたらす再生可能および非再生可能な天然資源（例：植物、動物、空気、水、土、鉱物）のストック

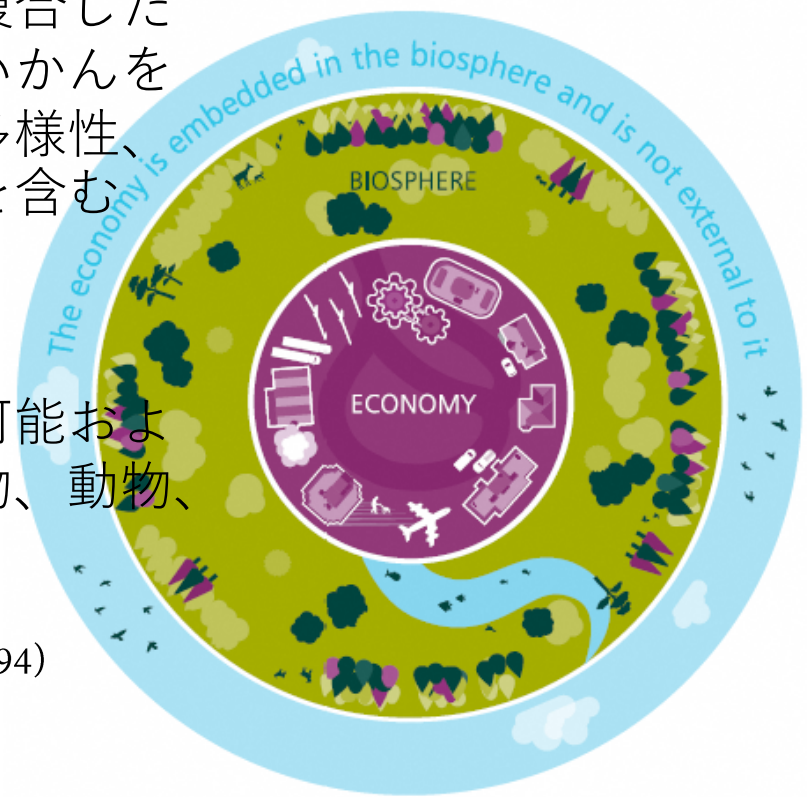
(Natural Capital Protocol, 2016)

原出典: Atkinson and Pearce 1995; Jansson et al, 1994)

「自然」

生物の多様性と、生物間および環境との相互作用に重点を置いた自然界。

(The IPBES Conceptual Framework, 2015)



出典：Dasgputa Review (2021)

気候関連課題との違い

Marc Carney氏（国連気候変動問題担当特使）のCOP26サイドイベントでのコメント

「TNFDの仕事はTCFDの仕事よりもずっと難しい。」

「生物多様性と自然をドルやポンドの数字にマッピングすることで最適化を向上させる簡単な方法はない。」

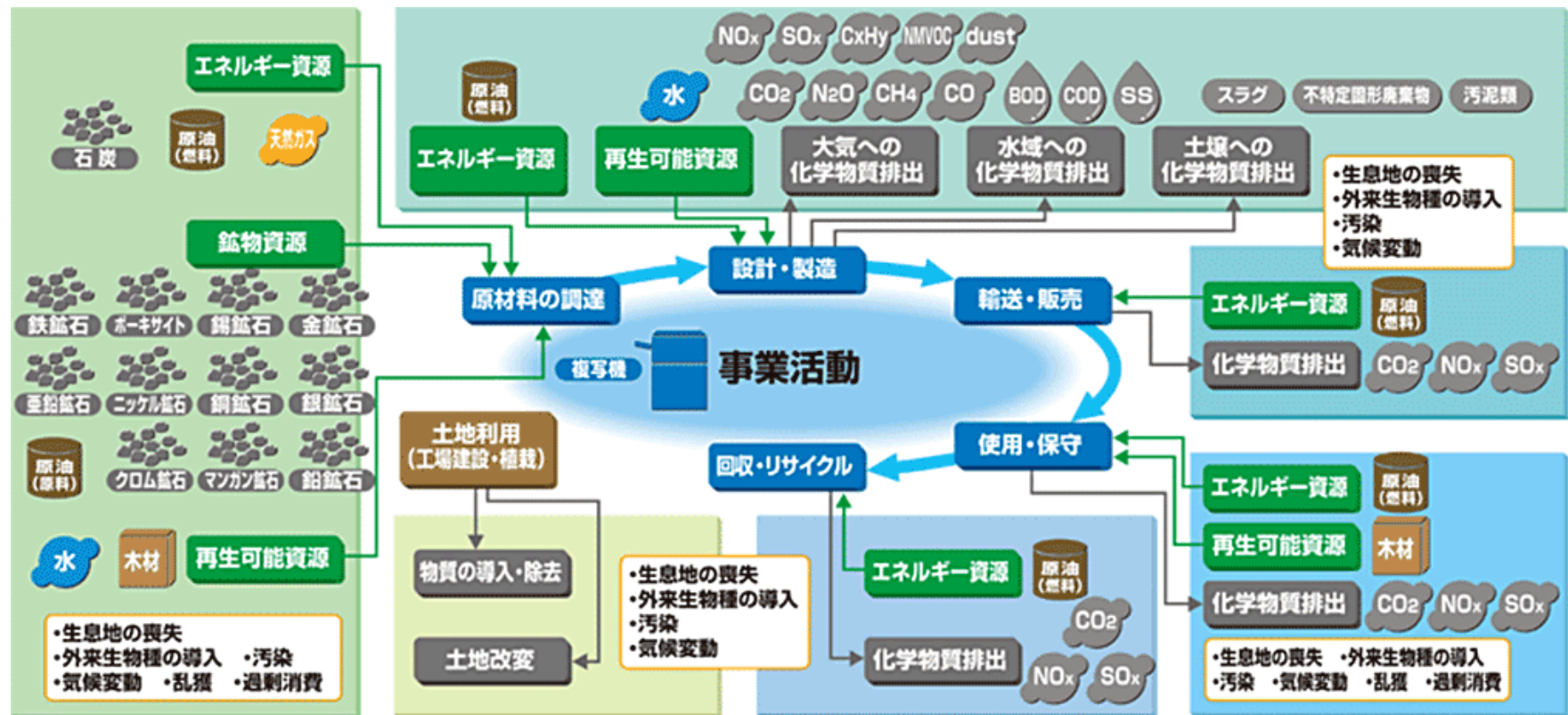
「TNFDは、同じコインの両面をいかに統合するかということを考える上で、何か別のものを提供する立場にあるかもしれない。」

個人的な見解

- 事業会社にとって自然関連の課題は、つねに場所に紐づいている。気候関連の物理的リスクへの適応と親和性がある。
- 排出量算定（SCOPE1+2+3）でサプライチェーンを評価するような一律的なアプローチはない。
- 場所の情報を読み解き（虫の目）それをグローバルな目で整理、分析して（鳥の目）情報開示に対応するグローバルな人材の育成が必要。

備えるポイント はじめの一步
とくに、事業会社向け

備えるポイント 事業・会社と自然との関係性を把握する



出典：JBIB 企業と生物多様性の関係性マップ® (2008)

備えるポイント はじめの一步
視野をさらに広げてみる

備えるポイント 事業・会社と自然との関係性を把握する



台風15号（2019）の倒木による停電（
出典：経済産業省 資源エネルギー庁 ウェブサイト

備えるポイント 事業・会社と自然との関係性を把握する

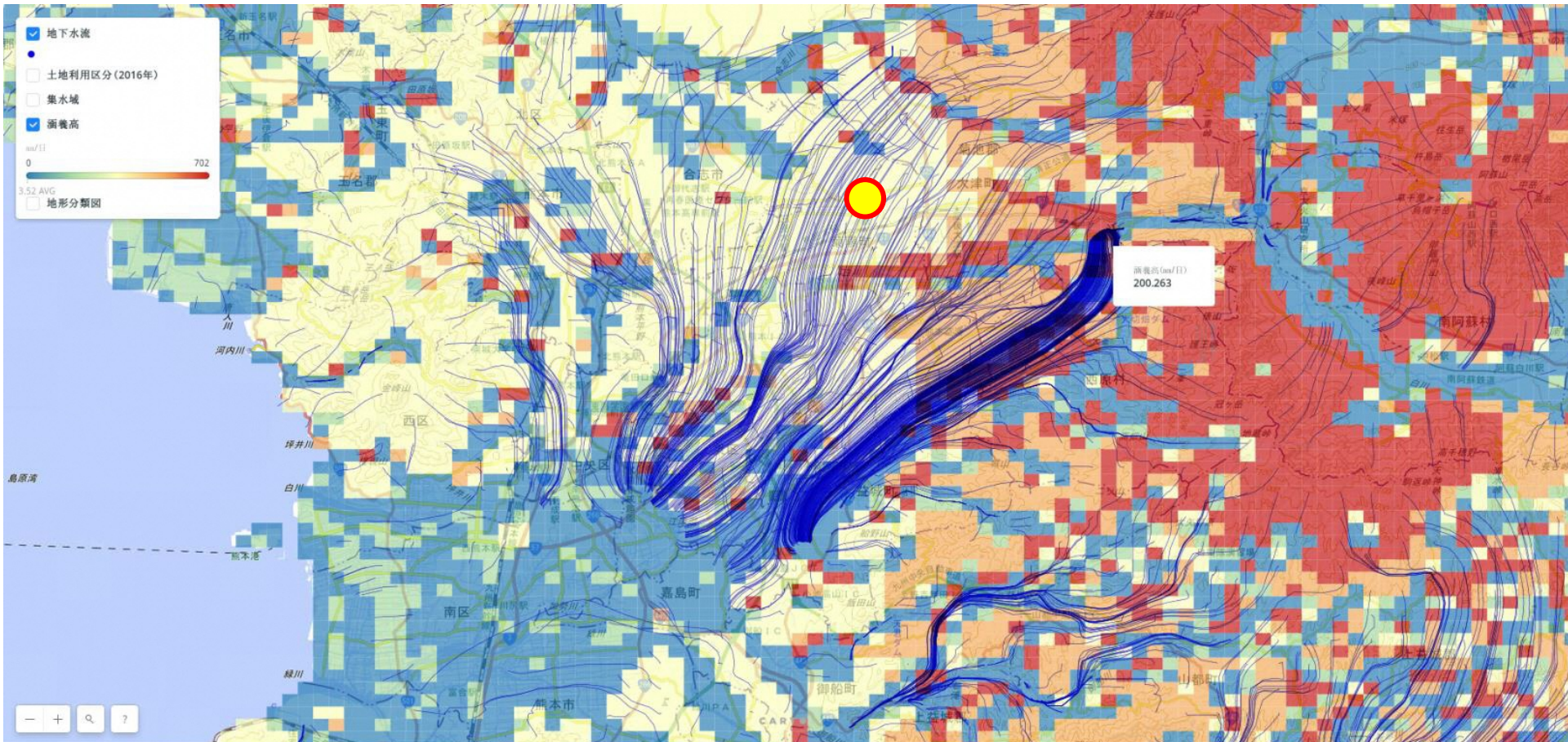


再生可能エネルギー開発

出典：ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)

備えるポイント 事業・会社と自然との関係性を把握する

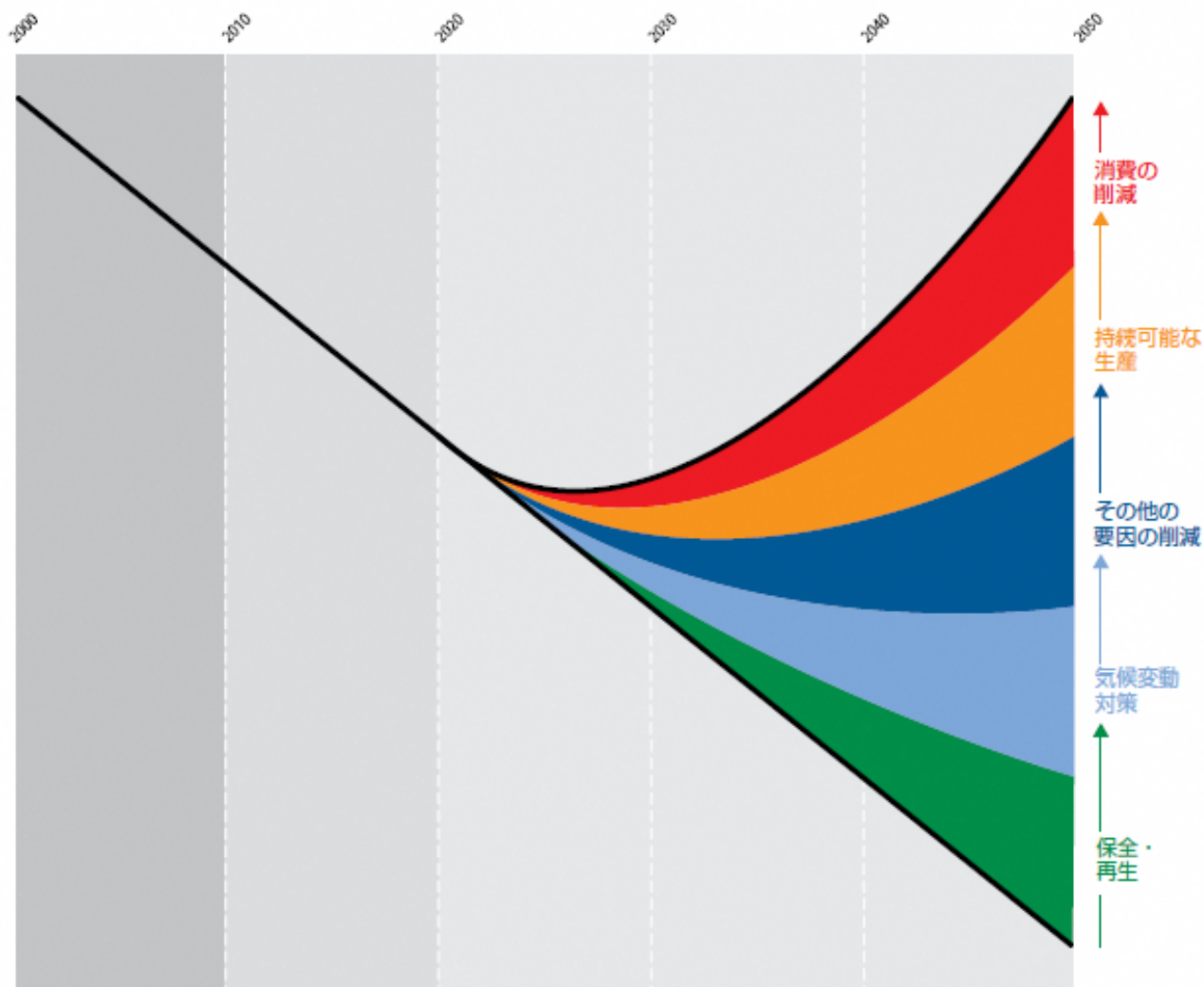
熊本市内への地下水の流れ



産業のコメ「半導体」と水

出典：MS&ADインターリスク総研

さいごに： 自然と共生する世界を目指して



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動のポートフォリオ

出典：地球規模生物多様性概況第5版（2020）